

2024年度

NO.14

2月号



小学部だより 作新学院小学部

2025年 1月 31日

<https://www.sakushin.ac.jp/elementaryschool/>

先日、土手に咲く一輪の花に目が留まりました。何の花かは分かりません。今どきのやり方からすれば、写真を撮り、それをググれば(検索すれば)「目・科・属・種」のような分類階級が瞬時に判明することも理解しています。しかし、一輪の花に目が留まった時に思ったのは、「なぜ、ここに咲いた?」という問いでした。土手の斜面を利用して、最大限に陽の光を浴びようとしている? 春先の早い時季に咲き、種の保存の作戦を練っている? これらの問いは、先の「ググれば」と同類であることに気がきました。ここで生まれたから、ここで咲く。それに気付いたときに腑に落ちた気付きがありました。瞬間、思い出したのが「置かれた場所で咲きなさい(渡辺和子著;ノートルダム清心学園理事長)」の本でした。『置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。咲けない時は、根を下へ下へと降ろしましょう。』という一文が印象的でした。課題・難題にぶつかっても、その状況の中で咲く努力をしてほしい。どうしても、という時には無理に咲かなくてもいい。その代わりに、根を下へ下へと降ろし、次に咲く花のために備えよう。そのように理解しています。

唐突な巻頭言ではありますが、やはり年度末の忙しさの中にあっても、じっくりと(自信をもって;ちなみに「自信」という文字は「自らを信じる」と書きますね)諦めずに取り組んでほしいと願うからです。次の機会を得るためには、諦めずに希望を持ち続けることが肝要だと教えられている気がします。

2月の行事予定

1	土	一日入学	14	金	個人写真撮影(1~5年)
3	月	租税教室・財務教育(6年)	18	火	学級懇談会(6年) 必修クラブ見学(6年保護者)
3	月	個人面談(1~5年)~6(木)	19	水	スキー教室(5・6年)~21(金)
7	金	スケート教室(3・4年)	25	火	クラブ
12	水	B日課	26	水	学力テスト~28(金)
13	木	役員会	3/3	月	新入生購買用品引き渡し 6年オリエンテーション

連絡事項

- 2/3(月)から個人面談が始まります。すでに各クラスより詳細を記載したプリントが配布されています。よろしくお願いいたします。

- 2/3(月)に租税教室・財務教育(6年)があります。専門家担当者が来校され、将来に活かせる知識が習得できる機会です。アカデミア・ラボのクエストルームで開催します。
- 2/7(金)に、スケート教室(3・4年生)があります。詳細は1/10(金)配布の記載通りです。昨年同様専門のインストラクターが各グループで指導していただきます。
- 2/12(水)はB日課です。下校時刻が変わります。ご注意ください。
- 2/14(金)に、新学年に向けての個人写真撮影(1年生~5年生)があります。特に撮影日には服装・頭髪を整えて登校させてください。
- 2/19(水)から二泊三日の予定でスキー教室(5・6年)があります。スキー教室説明会の際に配布したプリントをよくお読みになってください。日頃から健康には留意されているところですが、安心安全なスキー教室となりますよう、該当学年の子どもたちはもちろんのこと、保護者様におかれましてもお子様の体調管理をよろしくお願いいたします。また、確認いたしますが「頭髪のシャンプー」につきましては、禁止ではなく体調良好・ヘアードライヤーの使用に十分な注意・日程を守る範囲で認めていることをご連絡します。

個人面談・学級懇談会について

- 1年生~5年生の個人面談について

日時 クラス配布の記載通り 各教室にて
午前中授業・給食、該当学年の下校は1:30p.m.
駐車場は、西駐車場です。

- 6年生の学級懇談会について

日時 2/18(火)3:15p.m.~ 6年各教室にて
6年生の下校は3:00p.m.
駐車場は、西駐車場です。



卒業まで「6週間」

明日の「一日入学」では6年生の女子に係りお手伝いをお願いしました。担当した6年生は、きっと「私も(当時の6年生のお兄さんやお姉さんにお世話になった)」という記憶がよみがえっていることと思います。思うに、小学部の伝統になっているのがこの「係りお手伝い」です。

小学生の発達段階を考えると、保護者(親)から愛情豊かに育てられ、その後少しずつ生活の場を外に向け始めます。公園デビューという言葉がありますが、まさに安心安全であった親御さんの視野から、外界へ歩みだす段階を表す言葉でしょう。幼稚園や保育園で集団生活を学び始めます。このとき人間関係は親からお友達へと広がっていきます。小学生になると、「クラスメート」を強く意識し始めます。そして…、学年の違う「お兄さん」や「お姉さん」という年上の“お友達”を人間関係の枠に入れ始めます。このとき、「お兄さん」や「お姉さん」と呼ばれる5・6年生はロールモデルとして学びの対象になります。「私もお世話になったあの時のように、下の学年の子をお世話したい」などと自覚し始めるのです。その先頭に立っている6年生は、卒業までの間、下級生にどんなお手本を示すのか、楽しみながら見守りたいと思います。